

平成29年度教育委員会の基本方針等(案)について

(変更点抜粋)

はじめに	平成29年度	平成28年度
	<p>宇佐市教育委員会では、「大人が学び、子どもたちが学ぶ教育の郷づくり」の基本理念のもと、人々がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる教育環境の整備に努めている。</p> <p>市長と教育委員で組織する「総合教育会議」において、平成27年度からの10年先を見通した本市の教育行政の方向や施策を示した「宇佐市教育振興基本計画」が「宇佐市教育行政の大綱」に承認され、この「教育大綱」に沿って、生涯にわたって共に学びあえる学習機会の充実に向け取り組んでいる。</p> <p>本計画の特色としては、「宇佐市が目指す教育」を実現していくための「3つのビジョン」と「10の取組の方向」さらには、その取組み方向に基づいた「30の重点施策」を整理し、次代を担う子どもたちが、心豊かに社会を生き抜く力を身に付けられるよう宇佐市らしい教育の推進を示している。この「宇佐市教育振興基本計画」に基づき、平成29年度の基本方針等では、教育分野の方向性を示し、教育の一層の充実を図る。</p>	<p>宇佐市教育委員会では、「大人が学び、子どもたちが学ぶ教育の郷づくり」の基本理念のもと、人々がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる教育環境の整備に努めている。</p> <p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度からすべての地方公共団体に設置されることとなった市長と教育委員で組織する「総合教育会議」において、平成27年度からの10年先を見通した本市の教育行政の方向や施策を示した「宇佐市教育振興基本計画」が「宇佐市教育行政の大綱」に承認された。</p> <p>本計画の特色としては、「宇佐市が目指す教育」を実現していくための「3つのビジョン」と「10の取組の方向」さらには、その取組み方向に基づいた「30の重点施策」を整理し、次代を担う子どもたちが心豊かに、社会を生き抜く力を身に付けられるよう宇佐市らしい教育の推進を示している。この「宇佐市教育振興基本計画」に基づき、平成28年度の基本方針等では、教育分野の方向性を示し、教育の一層の充実を図る。</p>

《教育総務課》

<p>◇平成29年度重点施策◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・「うさ教育・家庭・読書の日」の推進 ○ 空調設備及びプール施設の整備 ○ トイレの洋式化の推進

◎教育総務係

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
1. 教育委員会の活性化	<p>①教育委員会の活性化 保護者や地域住民の期待にこたえる質の高い教育を目指し、地域のニーズに応じた教育行政を主体的に企画し、実行していくために、教育委員への情報提供を行いながら、学校や地域教育施設等の計画的な視察、あるいは、市長、学校、保護者との意見交換など広聴活動を行い、教育委員会体制をより充実し、教育委員会の活性化を図る。</p> <p>②開かれた教育委員会 教育行政方針や市教育委員会便りを発行し、教育活動の状況や教育委員会が行っている施策をホームページ等を通じて保護者や地域住民に周知させ、広報活動の充実を図ることが必要である。</p> <p>③「うさ教育・家庭・読書の日」の推進 毎年11月の第3日曜日の「うさ教育・家庭・読書の日」については、教育委員会、学校、家庭等で読書活動等の推進により、豊かな心の育成や学力向上の機運の醸成に取り組む日として推進事業を実施する。</p>	<p>本年度も引き続き、地域のニーズに応じた教育行政を主体的に企画し、実行していくために、教育委員への情報提供を行いながら、学校や地域教育施設等の計画的な視察、あるいは、市長、学校、保護者との意見交換など広聴活動を行い、教育活動の状況や教育委員会が行っている施策等を保護者や地域住民に周知させ、広報活動の充実を図ることが必要である。</p> <p>そして、保護者や地域住民の期待にこたえる質の高い教育を実現していくために、教育委員会体制をより充実し、教育委員会の活性化を図る。</p> <p>毎年11月の第3日曜日の「うさ教育・家庭・読書の日」については、教育委員会、学校、家庭等で読書活動等の推進により、豊かな心の育成や学力向上の機運の醸成に取り組む日として推進事業を実施する。</p>

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
4. 学校施設・設備の充実	<p>①小学校の規模の適正化 本年度も引き続き、公立学校の規模の適正化等の検討を行うため、公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会を開催する</p> <p>②学校施設・設備の充実 市内幼小中学校の施設の老朽化、不具合箇所等、地域やPTAが中心となり、環境整備を行う活動の支援を行う。</p>	市内幼小中学校の施設の老朽化、不具合箇所等、地域やPTAが中心となり、環境整備を行う活動の支援を行う。また、学習意欲の向上に向けて環境改善を図り、小中学校の規模の適正化等の検討を行うため、公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会を開催する。
12. 奨学制度による支援	① 教育の機会均等と人材育成を図るための奨学制度による支援 高等学校等へ勉学の意欲がありながら、経済的理由により就学が困難な生徒に対して、教育の振興に寄与することを目的として奨学制度による支援を行う。	高等学校、高等専門学校へ進学する生徒に対して、奨学制度による支援を行う。

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
1. 教育委員会の活性化 5項目⇒6項目	(新) ④ ホームページの充実	教育委員会会議録・教育行政方針・市教委便りの掲載	実施		(削除)			
4. 学校施設・設備の充実 3項目⇒2項目	①公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会開催	公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会開催	年3回開催予定		①公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会開催	公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会開催	年1回開催	
					②自動体外式除細動装置(AED)更新事業(小中学校)	更新時期を迎えるAED装置の更新	小学校(27台) (分校含む) 中学校(7台) 実施	
12. 奨学制度による支援	①奨学制度による支援	宇佐市奨学資金 藤・稲尾奨学資金	補助人数49名、16名		①奨学制度による支援	宇佐市奨学資金 藤・稲尾奨学資金	補助人数51名、16名	

◎学校施設整備係

(1)基本方針	平成29年度	平成28年度
	<p>学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、いきいきと学び、生活する場であり、安心して学べる教育環境でなければならない。その具体策として教育環境の質的向上を図る方針のもと、学校施設・設備の充実を重点目標として掲げ、平成28年度より「第3次宇佐市立学校教育施設整備計画」に基づき、学校施設の空調設備の整備、プール施設の整備に取り組んでいるところである。平成29年度においても引き続き空調設備及びプール施設の整備に取り組んでいく方針である。</p> <p>また、学校現場等の声を反映した老朽化・不具合箇所等の改善にも努め、安心して学べる教育環境づくりを目指す。特に改善要望の多数を占めるトイレの洋式化を積極的に推進し、子どもたちの教育活動に支障をきたすことがないよう施設の整備や維持管理を図る。</p>	<p>学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、いきいきと学び、生活する場であると同時に、地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、また、地震等の非常災害時には避難場所として利用される地域の防災拠点としての役割を担っている。</p> <p>そのため、学校施設は子どもたちをはじめ、そこに集う人たちの安全と安心を十分に確保したものでなければならない。</p> <p>平成27年度に平成23年度から取り組んできた学校施設の耐震化率が100%を達成した。平成28年度以降は「第3次宇佐市立学校教育施設整備計画」に基づき、学校施設の空調設備の整備、プール施設の整備に取り組んでいく。また、今後は少子化の更なる進展により学校の在り方も変化していくことが考えられるが、『安心して学べる学校教育施設づくり』を目指し、学校現場等の声を反映した老朽化・不具合箇所等の改善に努める。特に改善要望の多数を占めるトイレの洋式化を積極的に推進し、子どもたちの教育活動に支障をきたすことがないよう施設の整備や維持管理を図る。</p>

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
3. 安心・安全な学校づくり	<p>(新)</p> <p>①落下物や転倒物から子どもたちを守るため、非構造部材の耐震対策の推進</p>	
4. 学校施設・設備の充実	①第3次宇佐市立学校教育施設整備計画に基づく空調設備の整備、プール施設の整備	①第3次宇佐市立学校教育施設整備計画に基づく空調設備の整備、プール施設の整備

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
3. 安心・安全な学校づくり	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
					① 北馬城小学校屋内運動場改築事業	外構工事(擁壁工事)	実施 (13校)	
	①小学校遊具の設備・充実	複合遊具の設置 ----- 個別遊具の設置	実施 (複合2校) (個別4校)	平成28年度 (個別5校)				

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
4. 学校施設・設備の充実	①教育環境の質的向上 (エアコン整備事業・小学校)	普通教室等の空調機器設置	実施 (12校) 小学校整備完了	平成28年度 小学校(13校)	①教育環境の質的向上 (エアコン整備事業・小学校)	普通教室等の空調機器設置	実施 (13校)	
	②教育環境の質的向上 (中学校プール施設改修事業)	プール施設の整備	実施 (2校)		②教育環境の質的向上 (小学校プール施設改修事業)	プール施設の整備	実施 (2校)	
	③教育環境の質的向上 (小・中学校各種設備改修事業)	トイレの環境改善等	トイレ洋式化率 50%以上	平成28年度 48%	③教育環境の質的向上 (小・中学校各種設備改修事業)	トイレの環境改善等	トイレ洋式化率 48%以上	平成28年度 46%

《学校教育課》

◇平成29年度重点施策◇

- 中学校の授業改善・学力向上
- 『耐える力・継続する力』の育成
- 地域・保護者と共につくる学校

(1)基本方針	平成29年度	平成28年度
	<p>学校教育は、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中、子どもたちが心豊かに、たくましく生き抜いていく力と意欲を高める教育の確立のために、学校・家庭・地域が連携し協働して、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる生きる力を養うとともに、国家及び社会の形成者としての資質の育成を目標とするものである。そこで、学校教育課は「個性豊かな人材と文化を育むまち」の実現のため、地域とともにつくる学校を推進する中で、学習指導要領の着実な実施を図り、趣旨を踏まえた学校体制の確立と教育内容を充実させ、安全・安心な学校づくりを基本方針とする。</p> <p>この基本方針を具現化するために、「子どもたちに誇りと希望、そして夢を」をテーマに、「自ら学ぶ力と豊かな心を育み、未来に希望と夢を抱き、ふるさと宇佐に誇りをもてる宇佐市民の育成」と「規律ある集団において、他を受け入れ、自己を表現する中で仲間とともに自己開花できる児童生徒の育成」を柱にして、自ら夢に向かって仲間とともにたくましく歩く児童生徒の育成を目指し、以下の重点目標を策定する。</p>	<p>学校教育は、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる生きる力を養うとともに、国家及び社会の形成者としての資質の育成を目標とするものである。そこで、学校教育課は「個性豊かな人材と文化を育むまち」の実現のため、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進する中で、学習指導要領の趣旨を踏まえた学校体制の確立と教育内容の充実を図るとともに安全・安心な学校づくりを基本方針とする。</p> <p>この基本方針を具現化するために、「子どもたちに誇りと希望、そして夢を」をテーマに、「自ら学ぶ力と豊かな心を育み、未来に希望と夢を抱き、ふるさと宇佐に誇りをもてる宇佐市民の育成」と「規律ある集団において、他を受け入れ、自己を表現する中で仲間とともに自己開花できる児童生徒の育成」を柱にして、自ら夢に向かって仲間とともにたくましく歩く児童生徒の育成を目指し、以下の重点目標を策定する。</p>

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
2. 幼児教育の充実 1項目⇒3項目	(新) ②ALTの配置	週1回	実施					
	(新) ③幼保小連携研修会	年1回	実施					
3. 安全・安心な学校づくり 7項目⇒8項目	(新) ⑧フッ化物洗口による 歯と口の健康	モデル校によるフッ化物洗口の周知及び実施体制の構築	実施					
5. 教育内容の充実 18項目⇒19項目	③複式授業改善臨時講師配置事業	複式学級の授業改善を図るため臨時講師を配置し、小規模校の教育内容の充実を図る	14人配置		③複式授業改善臨時講師配置事業	複式学級の授業改善を図るため臨時講師を配置	14人配置	
	④多人数学級支援教員配置事業	36人以上で単式学級となる学校に支援教員を配置して、複数指導や少人数指導体制の整備を図る	6人配置		④多人数学級支援教員配置事業	36人以上で単式学級となる学校に支援教員を配置して、複数指導や少人数指導体制の整備を図る	4人配置	

《学校給食課》

◇平成29年度重点施策◇
 ○ 食物アレルギー対応食の実施 ○ 給食フェスタの実施

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
8. 学校給食の充実 ①安全で安心な学校給食の提供	食物アレルギー対応食の実施	食物アレルギー対応食の実施及び準備
	給食会計において、現金取扱基本マニュアルに則り適切な会計処理を行う。また、給食費の徴収方法について、学校給食センター運営委員会で検討する。	給食会計において、現金取扱基本マニュアルに則り適切な会計処理を行う
②食育の推進	(新) 給食フェスタの実施	

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
8. 学校給食の充実 安全で安心な学校給食の提供	①学校と家庭と連携した学校給食の提供	給食の提供回数	年197回		①学校と家庭と連携した学校給食の提供	給食の提供回数	年195回	
		米飯給食回数	週4回程度			米飯給食回数	週3回程度	
		パン給食回数	週1回程度			パン給食回数	週2回程度	
		牛乳回数	週5回			牛乳回数	週5回	
副食回数		週5回	副食回数			週5回		
運営委員会		年1回	運営委員会			年1回		
献立委員会		年3回	献立委員会			年3回		
給食だより	全保護者に配布	給食だより	全保護者に配布					
②検食の実施	小学校(24校及び分校) 中学校(7校)		年197回		②検食の実施	小学校(24校及び分校) 中学校(7校)	年195回	
⑥食物アレルギー食材の除去食	宇佐学校給食センター 南部学校給食センター		実施 実施		⑥食物アレルギー食材の除去食	宇佐学校給食センター 南部学校給食セン	実施準備 実施	
食育の推進 3項目⇒4項目	①地産地消の取組推進	「ふるさと給食の日」を設定し地元産の食材使用	毎月 1 回		①地産地消の取組推進	「ふるさと給食の日」を設定し地元産の食材使用	毎月 1 回	
		「学校給食1日まるごと大分県」などのイベントを通じた地産地消の推進	年 1 回			「宇佐産小麦を使用したパンの給食提供」、 「学校給食1日まるごと大分県」などのイベントを通じた地産地消の推進	年 1 回	
		「マテ貝堀」や「クロダマルの枝豆収穫」など食育体験と連携した取組	年 2 回					
	(新) ④給食フェスタの実施	・学校給食に関する資料等の展示 ・給食の試食	年 1 回					

《社会教育課》

<p>◇平成29年度重点施策◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域「協育力」向上支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後チャレンジ教室の拡充(7教室+1教室)、中学生の学び応援教室(安心院・院内中学校) ○ 資料館及び遺構群の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・平和ミュージアム(仮称)建築実施設計及び展示実施設計に伴う建設準備委員会やプロジェクトチーム会議の開催 ・平和ミュージアム(仮称)建設用地の造成(H29.12月完成予定) ・遺構めぐり拠点施設(「宇佐空の郷」仮称)の開設 ・レンガ造り建物(落下傘整備所跡)等の整備に伴う実施設計 ○ 文化財の整備と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡法鏡寺麩寺跡保存整備事業(古代寺院跡の歴史公園整備)、史跡宇佐神宮境内保存修理事業(史跡の景観保全のため初沢の池などを浚渫)

◎生涯学習係・安心院地域教育係・院内地域教育係

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
13. 生涯学習施設・設備の充実	施設の現状調査を行い、改修計画等の立案及び各種委員会等で協議。 安心院地域複合支所が安心院中央公民館部分含め建設工事開始予定。	施設の現状調査を行い、改修等の研究及び各種委員会等で協議。 安心院中央公民館解体撤去工事を行い、安心院地域教育係の事務所引越し及び安心院中央公民館各講座の移転等の実施。
19. 地域「協育力」向上支援の充実	(新)「中学生の学び応援教室」の取組の推進。	

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
◎生涯学習係	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
13. 生涯学習施設・設備の充実	①公民館等施設の整備	検討委員会開催	年1～2回実施		①公民館等施設の整備	検討委員会開催	年2～4回実施	
19. 地域「協育力」向上支援の充実	①地域「協育力」向上支援の(放課後プラン)推進	放課後チャレンジ教室 西馬城、佐田、深見、南院内、院内中部、天津、長峰+1	8カ所実施		①地域「協育力」向上支援の(放課後プラン)推進	放課後チャレンジ教室 西馬城、佐田、深見、南院内、院内中部、天津+1	7カ所実施	
		(新) 中学生の学び応援教室	2カ所実施					
	②「家庭の日」の普及・啓発	「うさ教育・家庭・読書の日」の推進(ポスター等募集)	130点応募		②「家庭の日」の普及・啓発	「うさ教育・家庭・読書の日」の推進(ポスター等募集)	150点応募	
◎安心院地域教育係	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
13. 生涯学習施設・設備の充実	① 公民館等施設の整備	安心院中央公民館を複合支所内に建設	6月着工予定		① 公民館等施設の整備	安心院中央公民館解体撤去工事	9月頃～	
		施設等の維持、管理	3公民館			施設等の維持、管理	4公民館	

◎平和ミュージアム建設準備室

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
23. 資料館の整備	<p>(新) ④平和ミュージアム構想PR事業 平成28年度の基本設計業務の完了で施設概要が確立してきたことにより、資料館建設をはじめ事業全般の周知を図る。特に修学旅行、団体旅行の誘致を図るため、旅行会社等にPR活動を行う。 また、事業全般の財源確保の取組として、市外の企業に対する企業版ふるさと納税、市外の方を対象としたふるさと納税制度を確立し、積極的にPRを行うことや市内の方を対象とした仕組みの検討を重ねる。</p>	
24. 遺構群の整備	<p>(新) ①宇佐空跡保存会(仮称)育成事業 平成28年度末に遺構めぐり拠点施設整備事業が完了し4月以降に開館予定である。地域住民が中心となり組織する「宇佐海軍航空隊跡保存会(仮称)」へ施設管理を委託すること等で、団体の自立に向けての取組に対して支援する。 この施設から、「平和の大切さと命の尊さ」のメッセージを発信し、平和学習、観光、交流の拠点施設となるよう機能の充実を図る。</p> <p>②第2次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画の推進 平成27年度に策定した「第2次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画書」に基づいた計画的な戦争遺構の整備を図る。 平成29年度では、城井1号掩体壕、爆弾池、滑走路跡を調査(基本設計)することや、落下傘整備所、エンジン調整場の周辺用地を取得し、整備に向けた実施設計を行う。また、半地下式コンクリート造建物の実施設計や配水場付属施設の用地取得、高居地下壕の概要調査、国内最大級の掩体壕である森山中型掩体壕の周辺の用地取得及び物件補償など、計画書で短期整備として位置づけた遺構は、資料館の完成に合わせた整備を図る。</p> <p>③モバイルガイドシステムの活用 平成28年度に基本的な機能を構築したモバイルガイドシステムは、スマートフォンやタブレットを使い、落下傘整備所等での音声や3D映像で解説する遺構ガイド、近隣の観光、食事処、お土産の紹介など、ガイドブック的な活用が可能となっている。平成29年度においては、このモバイルガイドシステムを多くの人が活用することを目標とし、パノラマ撮影など機能強化を図る。</p> <p>(新) ④シティバイク整備事業 半径2キロメートルの範囲に集中する遺構めぐりの交通手段として自転車、ラックの整備を行う。併せて、近くの観光地なども見学できるよう利用者の利便性の向上や充実した見学の提供を図る。</p> <p>(新) ⑤戦争遺構を活用したまちづくり研究会事業 兵庫県加西市との連携事業として平成29年度において、「戦争遺構を活用したまちづくり研究会(仮称)」を設立し、地域再生計画、地方創生推進交付金を活用したまちづくり事業を検証していく。</p>	<p>①第2次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画の推進 平成27年度に策定した「第2次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画書」に基づいた計画的な戦争遺構の整備を図る。 具体的な事業内容として、平成27年度に公有化した宇佐海軍航空隊の正門跡地に駐車場・トイレ・ガイダンス施設を完備した遺構群をめぐる際の拠点施設の建設、落下傘整備所・エンジン調整場・半地下式コンクリート造建物の現地調査(基本設計)の実施、爆弾池については、発掘調査の実施、国内最大級の掩体壕である森山中型掩体壕の周辺の用地取得及び物件補償など、計画書で短期整備として位置づけた遺構は、資料館の完成に合わせた整備を図る。</p> <p>②モバイルガイドシステムの活用 平成27年度に基本的な機能を構築したモバイルガイドシステムは、スマートフォンやタブレットを使い、落下傘整備所等での音声や3D映像で解説する遺構ガイド、近隣の観光、食事処、お土産の紹介など、ガイドブック的な活用が可能となっている。平成28年度においては、このモバイルガイドシステムを多くの人が活用することを目標とし、遺構めぐりの活性化や見学する遺構と資料館の館内展示との一体化を図る。</p>

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度				
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考	
23. 資料館の整備	①建設準備委員会の開催	資料館建設に必要な事項を審議する委員会、プロジェクトチーム(PT)会議の実施。	委員会開催(4回) PT委員会議(8回)		①建設準備委員会の開催	資料館建設に必要な事項を審議する委員会、プロジェクトチーム(PT)会議の実施。	委員会開催(3回) PT委員会議(3回)		
	②造成工事	資料館建設地である城井1号掩体壕に隣接した土地(現況:田)造成工事の実施。	造成工事 合筆登記	約22,697㎡ 宇佐市土地開発公社と委託契約	②用地取得 造成工事	資料館建設地である城井1号掩体壕に隣接した土地(現況:田)の公有化、造成工事の実施。(H29まで)	用地交渉 測量、境界立会 土地売買契約売買契約 開発行為、造成設計 造成工事	約20,000㎡ 宇佐市土地開発公社と委託契約	
	③建築実施設計 展示実施設計	資料館建設工事に向けた建築に関する実施設計業務、展示に関する実施設計業務	建築実施設計 展示実施設計			③建築基本設計	資料館建設工事に向けた施設建築に関する基本設計業務	実施	
						④展示基本設計	資料館建設工事に向けた展示に関する基本設計業務	実施	
	(新) ④平和ミュージアム 構想PR事業	事業全般の周知をはじめ、修学旅行の誘致、企業版ふるさと納税のPR活動を行う	関東圏PR 関西圏PR リーフレット作成						
24. 遺構群の整備 5項目⇒10項目					①遺構めぐり拠点施設 整備事業	宇佐海軍航空隊の正門跡地に駐車場、トイレ、ガイダンス施設を完備した拠点施設を整備するための実施設計、建設工事の実施。	実施設計 建設工事	敷地面積: 1,413㎡ 建築面積: 135~140㎡	
					(新) ①宇佐空跡保存会 (仮称)育成事業	平成28年度末に完成した遺構めぐり拠点施設において、「平和の大切さと命の尊さ」のメッセージを発信し、平和学習、観光、交流の拠点施設として機能の充実を図るため、管理団体を育成する。	管理体制の整備	敷地面積: 1,413㎡ 建築面積: 146.65㎡	
	②-1城井1号掩体壕 滑走路跡 爆弾池の調査 (基本設計)	大分県建築士会宇佐支部が中心となった「宇佐町並み修景隊」に現地調査、見学に適した整備に配慮した基本設計業務を委託する。同時に、大分県立工科短期大学校との連携を図り、意見交換を行いながら、幅広い意見、見識を取り込んだ業務を推進する。	現地実測調査 ・図面作成 ・耐震診断 ・設計主旨及びイメージ作成			③爆弾池の発掘調査	当時の爆弾池の大きさなどを確認する現地調査の実施。	発掘調査実施	

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
24. 遺構群の整備	②-2落下傘整備所、エンジン調整場の実施設計、周辺用地取得等	周辺用地を購入し、造成工事を行い、平成28年度に行った基本設計を基に実施設計を行う。	実施設計 測量 境界立会 用地取得 造成工事 不動産鑑定		②落下傘整備所、エンジン調整場、半地下式コンクリート造建物の調査	大分県建築士会宇佐支部が中心となった「宇佐街並み修景隊」に現地調査並びに見学に適した整備に配慮した基本設計業務を委託する。同時に、大分県立工科短期大学校との連携を図り、意見交換を行いながら、幅広い意見、見識を取り込んだ業務を推進する。	現地実測調査 ・図面作成 ・耐震診断 ・設計主旨及びイメージ作成	
	②-3半地下式コンクリート造建物の実施設計	平成28年度に行った基本設計を基に実施設計を行う。	実施設計					
	②-4配水場附属施設の公有化	民地となっているこの施設は、半地下式コンクリート造建物と一体となった取組を行うため、公有化を図る。	用地取得 補償費 補償鑑定 不動産鑑定					
	②-5高居地下壕の概要調査	市指定史跡の一つとなっている高居地下壕の内部の大きさを図り調査をする。	概要調査					
	③モバイルガイドシステムの活用	モバイルガイド“うさんぼナビ”アプリのダウンロードを促すよう情報発信に努め、機能強化し、遺構めぐりの促進を図る。	ダウンロード数 300件		⑤モバイルガイドシステムの活用	モバイルガイド“うさんぼナビ”アプリのダウンロードを促すよう情報発信に努め、機能強化し、遺構めぐりの促進を図る。	ダウンロード数 1,000件	
	(新) ④シティバイク整備事業	フィールド内の戦争遺構群を気軽に巡回できる自転車、ラックを整備する。	自転車、ラックの整備					
	(新) ⑤戦争遺構を活用したまちづくり研究会事業	兵庫県加西市と連携し、「戦争遺構を活用したまちづくり研究会(仮称)」を設立し交付金事業の連携を行い、検証や見直し行っていく。	まちづくり研究会費 300千円					

◎文化財係

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
27. 文化財の整備と活用	宇佐市平和資料館の適正な管理・運営を行うとともに、 戦争遺構の調査や整備を図る。	宇佐市平和資料館の適正な管理・運営を行うとともに、展示資料の充実を図る。

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
26. 文化財の調査と保護	②公共工事対応発掘調査事業	公共工事で破壊の危機にある遺跡の保存を目的に発掘調査を実施する。	1遺跡調査 1遺跡報告書刊行		②公共工事対応発掘調査事業	公共工事で破壊の危機にある遺跡の保存を目的に発掘調査を実施する。	4遺跡調査 1遺跡報告書刊行	
27. 文化財の整備と活用	①国指定史跡法鏡寺廃寺跡保存整備事業	遺跡の保護のため史跡公園の整備を実施する	整備工事着手	国庫補助事業	①国指定史跡法鏡寺廃寺跡保存整備事業	遺跡の保護のため史跡公園の整備を実施する	実施計画作成	国庫補助事業
	②史跡宇佐神宮境内保存修理事業 (事業主体:宇佐神宮)	史跡の構成物件となっている池の景観保全を行う。	初沢池の浚渫を実施	国庫補助事業	②史跡宇佐神宮境内保存修理事業 (事業主体:宇佐神宮)	宇佐神宮の社殿等の椽皮屋根や丹塗り塗装の保存修理工事を実施する。	亀山神社修理	国庫補助事業
	⑤指定文化財環境整備事業	(イ)法鏡寺廃寺跡、楢本磨崖仏等の宇佐市が所有する史跡の草刈等の環境整備を行う。 (ロ)上記とは別に史跡等の環境整備を、地元自治区等に委託して実施する。	10か所 実施	一部県費補助事業	⑤指定文化財環境整備事業	(イ)法鏡寺廃寺跡、楢本磨崖仏等の宇佐市が所有する史跡の草刈等の環境整備を行う。 (ロ)上記とは別に史跡等の環境整備を、地元自治区等に委託して実施する。	14か所 実施	一部県費補助事業
		7か所 実施				8か所 実施		

《図書館》

◇平成29年度重点施策◇

- 「第二次宇佐市子ども読書活動推進計画」の総括、及び「第三次宇佐市子ども読書活動推進計画」の策定
- 宇佐学顕彰事業・「大井憲太郎」の顕彰活動とマンガ本の編集

(1)基本方針	平成29年度	平成28年度
	<p>宇佐市民図書館は、図書館法、教育振興基本計画に基づき、多様な市民ニーズに応えるため一般資料や郷土資料、視聴覚資料などの収集・整理に努めるとともに、資料を活用した宇佐学顕彰事業の継続や施設機能を活用した展示会、講演会などを開催する。さらに、ネットワーク機能、分館、自動車図書館活動の充実を図り、幼児期から本に親しむ環境づくりや全域サービスの推進により、市民の書齋、情報センターとしての図書館づくりに努める。</p> <p>また、「うさ教育・家庭・読書の日」の定着を図るため、学校図書館や各種団体と連携し、子どもの読書活動を推進し、実行委員会での進捗管理と施策の実施を推進する。</p> <p>少子高齢化、高度情報化、地方分権化等の社会の大きな進展・変化に伴う市民の様々な要請に対応するため、子育て支援やビジネス支援、医療・健康情報コーナー等の充実を図る。</p>	<p>宇佐市民図書館は、図書館法、教育振興基本計画に基づき、多様な市民ニーズに応えるため一般資料や郷土資料、視聴覚資料などの収集・整理に努めるとともに、資料を活用した宇佐学顕彰事業の継続や施設機能を活用した展示会、講演会などを開催する。さらに、ネットワーク機能、分館、自動車図書館活動の充実を図り、幼児期から本に親しむ環境づくりや全域サービスの推進により、市民の書齋、情報センターとしての図書館づくりに努める。</p> <p>また、「うさ教育・家庭・読書の日」の定着を図るため、「第二次宇佐市子ども読書活動推進計画」に基づいて、学校図書館や各種団体と連携し、「子どもの読書活動」を推進する。</p> <p>なお、少子高齢化、高度情報化、地方分権化等の社会の大きな進展・変化に伴う市民の様々な要請に対応するため、子育て支援やビジネス支援、医療・健康情報コーナー等の充実を図る。</p>

(2)重点目標	平成29年度	平成28年度
16. 読書活動の推進	<p>「宇佐市子ども読書活動推進計画」の推進 「第二次宇佐市子ども読書活動推進計画」を総括し、「第三次宇佐市子ども読書活動推進計画」の策定を目指す。学校、地域、行政、各種団体と連携することで、子どもの読書環境の向上を図る。</p>	<p>「第二次宇佐市子ども読書活動推進計画」の推進 実行委員会での進捗管理と施策の実施を推進する。学校、地域、行政、各種団体と連携することで、子どもの読書環境の向上を図る。</p>

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
15. 図書館サービスの充実	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
図書館資料と施設機能の有効活用	①上映会 (視聴覚ホール)	毎週土・日の上映会の来場者 ※夏休み、祝日の特別上映会を除く	100回上映 (1,200人)		①上映会 (視聴覚ホール)	毎週土・日の上映会の来場者 ※夏休み、祝日の特別上映会を除く	1,500人	
ネットワーク機能、分館、自動車図書館活動の充実と情報発信の促進	①小学校を中心にした全域サービス	自動車図書館ステーション年間個人貸出冊数	25,000冊		①小学校を中心にした全域サービス	自動車図書館ステーション年間貸出冊数	29,000冊	

(3)事業計画	平成29年度				平成28年度			
	具体的な施策	指標の説明	平成29年度指標	備考	具体的な施策	指標の説明	平成28年度指標	備考
16. 読書活動の推進 「宇佐市子ども読書活動推進計画」の推進	① 第二次宇佐市子ども読書活動推進計画の総括	各種団体連携協議	1回		①実行委員会の開催	各種団体連携協議	2回	
	② 第三次宇佐市子ども読書活動推進計画の策定準備	各種団体連携協議	2回					
「うさ教育・家庭・読書の日」の推進	①読書感想文・感想画コンクール表彰式	応募点数	感想文2,300点 感想画2,000点		①読書感想文・感想画コンクール表彰式	応募点数	2,400点	
読書環境づくりの拡充	①小学1年生への利用案内	図書館職員が学校へ出向き、説明する	利用案内希望 市内全新一年生		①小学1年生への利用案内	図書館職員が学校へ出向き、説明する	市内全新一年生	
図書館事業・行事の充実	①横光利一俳句大会	応募点数	全都道府県からの一般応募と市内全小中学校からの応募 (7,000点)		①横光利一俳句大会	応募点数	9,000点	
	②宇佐学顕彰事業	マンガ本の編集	累計7冊 (刊行平成30年度)		②宇佐学顕彰事業	マンガ本の刊行	累計6冊	